

2007-3

学会通信

平成 19 年 3 月 30 日

工業経営研究学会

NO.59

Association for the Study of
Industrial Management (Japan)

第 22 回 全国大会のお知らせ

主催校挨拶

今年の工業経営研究学会全国大会は、今春最初の卒業生を送り出した大阪成蹊大学での開催となります。

今大会の統一論題テーマは、「グローバル化の新展開—市場革命、情報革命、環境革命とグローバリゼーションの変容—」となりました。「グローバリゼーション」をテーマに開催したいとの野村重信会長の要望を尊重して、大会主催校として今年の「トヨタ・システムの国際比較—グローバリゼーション下の諸相—」に引き続き具体化しました。統一論題のテーマの背景として、世紀転換期における市場革命、情報革命、環境革命の進展とともに、グローバリゼーションはアメリカニズムの絶対化から相対化への新たな段階に入ろうとしていることがあげられます。それは、BRICs の急速な発展、地球環境問題の深刻化、情報技術の国際的進展、EU とアメリカの確執、日本経済の復活など、1990 年代におけるアメリカの指導によるグローバリゼーションの様相とは質を異にする新たな段階であると考えられます。とりわけ、BRICs の急成長による資源環境問題は、人類の生存をめぐる国際的な共生関係の構築という新たな課題を世界の国々に提起しています。それゆえ、こうした「グローバル化の新展開」に対応して、企業活動は単なる生産や市場をめぐる強者生存競争のみでなく、共生的競争関係に配慮した新たな経営戦略を構築しなければなりません。本年度の統一論題のサブタイトルを「市場革命、情報革命、環境革命とグローバリゼーションの変容」としたのは、わが国企業をはじめ各国の生産企業のグローバル戦略の実態と展望について、以上の視点から分析・議論し、グローバリゼーションの新段階の意義を解明することを目的としているからです。

統一論題および自由論題における活発な議論を通して、学会活動がさらに活性化されることを期待し、大会準備委員会一同、多くの会員が大阪成蹊大学に参集されることを祈念しています。

第 22 回全国大会準備委員会委員長 宗像正幸（大阪成蹊大学）

- ・大会日程 2007年9月10日（月）～9月12日（水）
 - 9月10日（月） 工場見学、理事会など
 - 9月11日（火） 自由論題報告、会員総会、懇親会、理事会
 - 9月12日（水） 統一論題報告・シンポジウム、研究分科会、理事会
- ・大会会場 大阪成蹊大学キャンパス
(〒533-0007 大阪市東淀川区相川 3-10-62、最寄り駅：阪急京都線相川駅)
- ・統一論題 グローバル化の新展開
—市場革命、情報革命、環境革命とグローバリゼーションの変容—

第 22 回全国大会の報告者募集

- ・ 統一論題と自由論題の報告者を募集します。
- ・ 報告応募の締め切りは5月31日(木)です。応募者多数の場合には大会準備委員会で選考させていただきます。ご了承下さい。
- ・ 応募先 〒533-0007 大阪市東淀川区相川3-10-62
大阪成蹊大学現代経営情報学部 岡田研究室
第22回大会準備委員会事務局宛
- ・ 応募内容
 - 1 報告タイトル
 - 2 報告者氏名・所属（共同報告の場合は、報告者すべての氏名・所属）
 - 3 報告要旨（400字程度、キーワード5つ、書式自由）
- ・ 大会予稿集原稿の締め切り 7月31日(火) 必着
送付先：上記の報告応募先に同じ。
原稿の書式等は、報告依頼書類とともに6月上旬にお知らせいたします。予稿集は送付原稿を直接印刷しますので、書式を厳守してください。
- ・ 第22回大会に関する問い合わせ先 bosyu@seikei-okada.com

「学会賞・研究奨励賞」候補推薦についてのお願い

学会賞・研究奨励賞選考委員会

委員長 風間信隆

2007年度の学会賞・研究奨励賞について、今年から全国大会授賞式において賞状をお出しすることを昨年の大会でお約束しておりますので、遅くとも7月末までには審査を完了する必要があります。そこで2007年度は**6月8日(金)**までに学会賞・研究奨励賞候補作品の募集を行い、その後、対象作品について選考委員会で選考を行いたいと考えております。つきましては、学会賞・研究奨励賞候補作品を会員の皆様にご推薦（自薦を含む）頂きますようお願い申し上げます。

なお、学会賞及び研究奨励賞について、工業経営研究学会内規は以下のように定めています。

1) 学会賞

対象者： 全会員

候補作品：① 本会学会誌及び他誌掲載の会員単独又は会員共同論文、会員単著、及び会員編著（但し、執筆者の過半数が会員であること）

② 候補作品の発表時期の期限は受賞年から数えて過去4年以内とする。

受賞者数： 2名以内

受賞制限： 受賞者は4年を越えなければ再受賞できない。

2) 研究奨励賞

対象者： 10月1日現在、満39歳までの会員

候補作品： 特定した課題について過去の一連の業績とし、かつその中に本学会発表論文を含むもの。

受賞者数： 2名以内

受賞制限： 受賞者は3年を越えなければ再受賞できない。

学会賞及び研究奨励賞のご推薦・ご応募は、選考委員会委員長 風間信隆宛に E-Mail もしくはお葉書にてお願い申し上げます。会員の皆様のご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。

問い合わせ先：

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学駿河台研究棟 839号室

〒183-0004 東京都府中市紅葉丘3-17-36 (042-306-5136)

E-Mail nobutaka@kisc.meiji.ac.jp

北海道部会活動報告

(平成18年度) 第2回研究会

2006年12月16日(土) 15:00~18:00

- ・テーマ：「道内自動車産業集積に向けた展望と課題 ～工業経営的視点から見た地場企業の自動車産業参入によるクラスター形成の課題～」
- ・報告者：亀森和博氏(日本政策投資銀行北海道支店)

東日本部会活動報告

(平成19年度) 第1回研究会

〔グローバルイノベーション研究分科会共催「タイ研修報告会」〕

2007年3月10日(土) 13:30~17:00 於：早稲田大学本部キャンパス

<報告者及びテーマ>

- ・「投資先としてのタイと『中国+1(ワン)』」 那須野公人氏(作新学院大学)
- ・「グローバル環境下における中小企業の形態変化—タイの場合—」
野村 重信氏(愛知工業大学)
- ・「タイの産業高度化における労働力問題について」 毛 及欣氏(高千穂大学〔院〕)
- ・「タイ進出の日本企業印象記」
加藤英一氏(弁理士)、安岡襄氏(ジャパンプラザ・チーフディレクター)
- ・「地場企業の挑戦—城南製作所のタイ工場展開—」 表 秀孝氏(長野大学)
- ・「タイ日系企業の企業視察—1992年と2006年」 鈴木 幸毅氏(駒澤大学)

循環型社会研究分科会活動報告

主査 浅野 宗克
事務局 金子 豪

第 17 回

1. 日 時 : 平成 18 年 12 月 2 日 (土) 13:00~17:00
2. 場 所 : 大阪府立労働センター(エル・おおさか) 6 階 604 号室
3. 報 告 : 「環境ビジネスの現状」
特定非営利活動法人 大和循環型社会創造機構
事務局長 吉村 直樹 様
事業系廃棄物処理の現状について、問題点をご指摘いただき、参加者全員での熱い討論を行った。

グローバルゼーション研究分科会活動予定

<本年度の海外企業視察予定>

1. 訪 問 国 インド (デリー、アグラ、ジャイプール)
2. 訪 問 時 期 8 月 25 日 (土) ~9 月 1 日 (土)
なお、その後ムンバイのペットボトル製造機械メーカー・ニッセイ ASB を訪れる追加プログラムも検討中です。
3. 視察予定企業等 スズキ、ランバクシ (インド企業)、モザンベア (インド企業)
BHARAT SEAT (インド中小企業)、旭硝子、ジェトロ
4. 費 用 約 ¥265,000 (食事付き)
5. そ の 他 分科会会員には、後日案内状を差し上げますが、会員以外の方で参加を希望される方あるいは興味をお持ちの方は、下記の分科会主査までご連絡下さい。

* 連絡先 : 主査 野村重信 (愛知工業大学)
電子メール アドレス : nomurashigenobu@aitech.ac.jp

工業経営研究学会 学会通信 59 号 (07-3) 2007. 3. 30

発行人 野村 重信 編集担当 関根雅則 那須野公人
学会事務局 高崎経済大学 経済学部 関根雅則
〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町 1300
TEL : 027-343-5417 (代表)
E-mail : noddie@os.rim.or.jp (自宅) sekine@tcue.ac.jp (大学)
ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/asimj/index.html>